



いちサポは、39歳までの若者の就職をサポートします！

いちサポ通信

厚生労働省地域若者サポートステーション事業
(岩手県労働局委託事業)
いちサポ通信8月号(第60号)
平成30年8月1日発行
〒021-0881 岩手県一関市大町4-29
市街地活性化センターなのはなプラザ4階
TEL:0191-48-4467 FAX:0191-48-4468

実績

平成30年7月までの実績(7月20日現在)

- 登録者・・・48名(うち平成30年度新規15名)
- 就職決定者・・・9名(平成30年4月より)
- 7月の就職決定者・2名(農業・電気設備施工管理)

JOB 体験

株式会社サンデー

報告

◆日時: 6/27 10:00-15:00 ◆参加者: 3名 ◆場所: 株サンデー千厩店
◆業種: 小売業 ◆所在地: 一関市千厩町
◆事業内容: ホームセンター。DIY用品「日曜大工用品」を中心に、住まい、暮らし、余暇関連の生活用品を販売。

株式会社サンデーは、青森県八戸市に本社を置き、東北地方にホームセンターを展開する企業です。2005年イオン株式会社と業務・資本提携。ちなみに「イオン」とはラテン語で「永遠」という意味です。皆様に末永く利用して頂き地域の皆様とともに永遠に貢献して行きたい意味合いが込められています。



千厩店の店舗は、商業建物中型で売場面積が700坪、商品数3万8千点、地域特性商品として刈り払機、お盆用ゴザ等があるようです。地域の専門店病院として運営、幅広い商品をそろえています。

午前「商品の品出し」と「品揃え」を体験。午後はパソコンを操作して値札(ポップ)作り、期間限定商品セールのエンド棚換えを体験しました。

店長さんから皆様へ



あいさつの基本さえできれば合格です。量販店は多くのお客様がご来店されます。笑顔が大切です。口角を広げて「ウイスキー」「モンキー」と口ずさみましょう。仕事は経験を通して覚えるものです。求人への応募お待ちしております。

小菊農家

報告 ◆日時: 6/14 10:00-12:00 ◆参加者: 6名
◆場所: 松原農場 ◆内容: 小菊の圃場の草取り

小菊を生産している藤野寿美さんの松原農場で1日体験を実施。小菊の病気予防の消毒の前作業としてマルチ近辺の草取りに取り組みました。不慣れでしたが6名で作業し、広い範囲の草取りが完了。寿美さんから「3分、30分、3時間、3日、3ヶ月、3年と数字でリズムを作って取り組むと頑張れる」というアドバイスを頂き、参加者の学びとなりました。



トマト農家

報告 ◆日時: 6/4 10:00-12:00 ◆参加者: 5名
◆場所: トマトハウス(千厩町) ◆内容: ホルモン処理

千厩町奥玉の小野寺勝義さんのトマトハウスで、ホルモン処理作業の体験を行いました。参加者たちは初めは恐る恐るトマトの花にホルモン剤を吹きかけていましたが、次第に慣れてきてテンポよく作業できるようになりました。勝義さんから「失敗しても次を考えれば大丈夫。マイナス×マイナスはプラスになる。仕事も生活もプラス思考が大切」と、楽しく人生を送る秘訣を伺いました。



8月の支援プログラム

- 1日: おうしゅうルーム
- 1日: おおふなとルーム
- 2日: YGテスト
- 3日: はじめの一步プログラム
- 6日: 古本ボラ
- 7日-10日: JOB体験図書館
- 9日: スポーツ吹き矢②
- 18日: サポカフェ
- 20日: 自立って何? セミナー
- 21日: 就労専門家相談
- 22日: おうしゅうルーム
- 22日: おおふなとルーム
- 23日: スポーツ吹き矢③
- 25日: 保護者のつどい
- 28日: こころの相談
- 30日: レディネステスト

報告 おうしゅうルーム



27日(水)に水沢メイプルで開催されたおうしゅうルームには4名が参加。午前中の「吹き矢」では「気をつけ」や「礼」といった所作や「深呼吸」を体験し「思ったよりきつい」という声もありましたが、的に当たったときの爽快感は格別です。午後からは相談会を実施。

報告 おおふなとルーム

7/4(水)のおおふなとルームはパソコンのタイピング練習をゲームで行ないました。参加者は「自分がどの程度できているか」を楽しみながら確認していました。自分の出来る事、レベルを知ることで次への進み方の気づきとなる機会となったようです。



企業見学会(いわいフード)

報告 ◆日時: 6/13 10:00-11:30 ◆参加者: 5名 ◆場所: いわいフード(一関市東山町)
◆業種: 食肉製品の加工(焼き鳥の製造) ◆事業内容: 食肉の串刺し業務 ◆設立: 2006年2月

大手企業の株式会社オヤマの協力会社として、焼き鳥の串刺しを納品(午前・午後)しております。串刺しとは、ただ刺せばよいというものではありません。重さには5グラム毎に単位があり、30g(31g~34g)・40g・50g・35gなどの多種に至ります。注文先の作業指示書に従って規格のサイズに切って、1本毎の重さをハカリで確認します。40g規格の場合は、鶏肉2kgから45本位が目安です。1日の生産量は9,000本、月220,000本を生産。従業員の1時間当りの製造数は平均100本以上です。

山内専務さんから皆様へ 焼き鳥の需要が高く生産が追いつかない状況です。最初は誰でも申が思うように刺せません。出来るようになるには何が必要か、本人の意見を尊重し会社がバックアップしています。積極的に「トライアル雇用制度」を採用し、期間(3ヶ月)内1日70~80本が目安です。ぜひ挑戦して下さい！

保護者のつどい

報告 ◆日時: 6/23 14:00-16:30 ◆参加者: 10名
◆講師: 小野仁志(いちサポセンター長)



「就職・自立に悩みを持つわが子に親ができること」をテーマに、親自身が「自分に今何が出来るか」を考えることに視点を当て、講話と意見交換を開催。「過去と他人は変えられない」としたうえで、「わが子に何かをさせるのではなく、自分ができることを考えることで、自分の中にある答えに気づくきっかけになる」と関わり方のポイントを解説。参加者からは「次回も参加したい」との声も。次回は8月25日を予定しています。

いちサポ年金セミナー

報告 ◆日時: 6/21 13:30-15:30 ◆場所: なのはなプラザ ◆参加者: 6名
◆講師: 今野恵太さん(一関年金事務所) ◆テーマ: 公的年金制度について



「社会保障ってなに?」をテーマに、公的年金制度について分かりやすく解説していただきました。講師の今野さんは「公的年金には、年をとった場合に受け取る老齢年金、障がい者になった場合に受け取る障害年金、一家の生計を支えていた人が死亡した場合に遺族に支払われる遺族年金の3種類がある」と公的年金制度の概要について説明。後半に行ったワークでは「老後の生活」「理想の社会」「自分たちができること」に視点を当て、意見交換を実施。「誰も見捨てない社会のためにも自分の状況を伝えることが大切」と伝え、多様性を認める時間となりました。

サポカフェ いちサポでは、就職が決まった利用者さんが気持ちよく働き続けられるようなサポートとして、卒業生の交流会である「サポカフェ」を月に1度開催しています。9月は8日にサポカフェを予定しています。

HP 支援プログラム等の詳しい情報はホームページまたは事務所掲示板をご覧ください。



編集後記 いちのせき若者サポートステーションでは、8月11日から8月16日まで夏季休業のためお休みをいただきます。ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願い致します。